

2015年3月期 第1四半期決算説明会

2014年8月5日

大日本スクリーン製造株式会社

常務取締役 最高財務責任者 (CFO)
近藤 洋一

資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



本日のアジェンダ

1. 2015年3月期 第1四半期 業績
2. セグメント別業績概況
3. 財務状況について
4. 持株会社体制移行について
5. 2015年3月期業績予想
6. まとめ

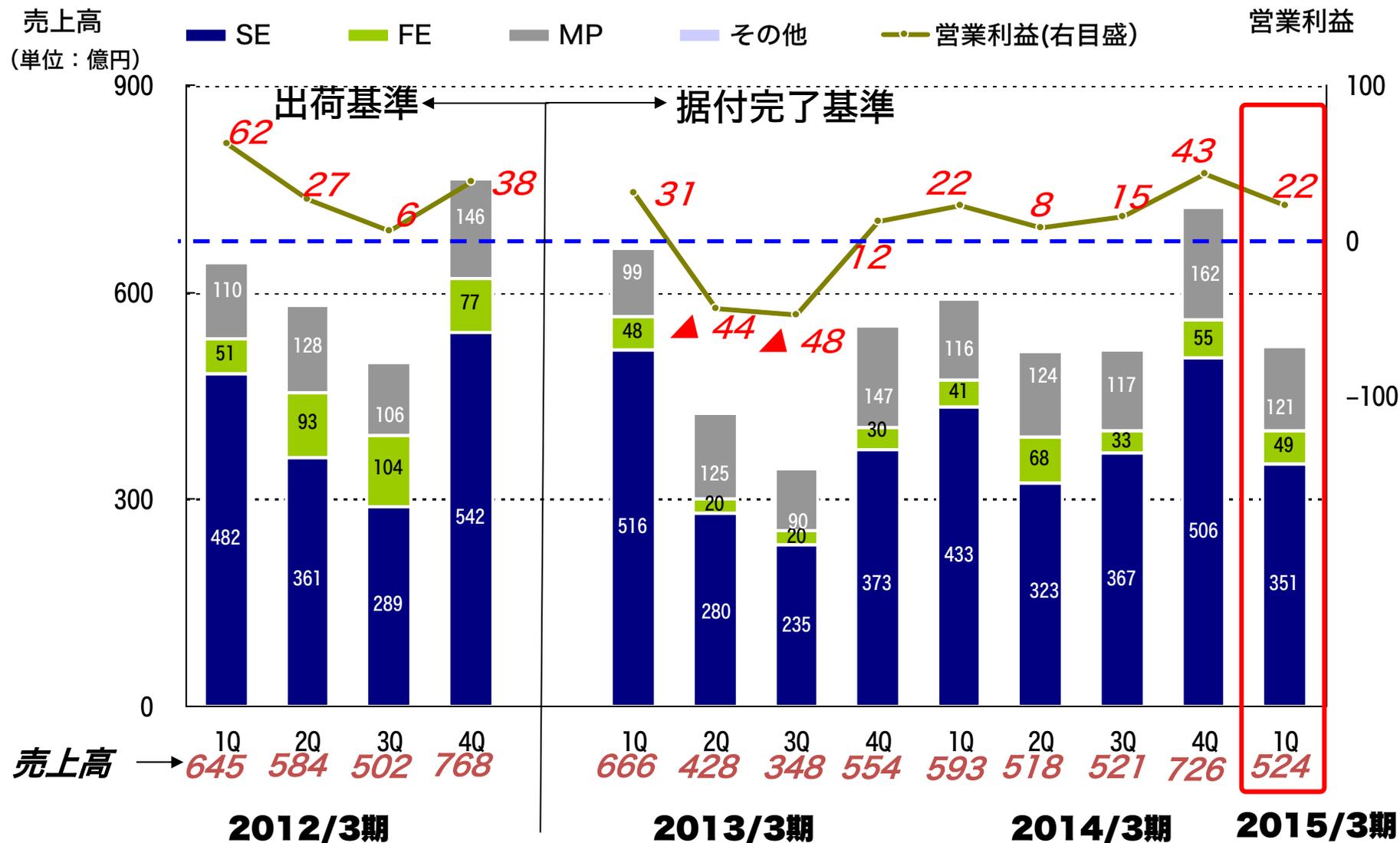
>>前年同期比較

(単位：億円)	2014年3月期 1Q		2015年3月期 1Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 1Q)	
	売上高	593	100.0%	524	100.0%	▲68
営業利益	22	3.7%	22	4.3%	0	1.3%
経常利益	22	3.8%	23	4.5%	1	5.5%
四半期純利益	16	2.8%	15	2.9%	▲1	-9.1%

>>前四半期比較

(単位：億円)	2014年3月期 4Q		2015年3月期 1Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 4Q)	
	売上高	726	100%	524	100%	▲202
営業利益	43	6.0%	22	4.3%	▲20	-48.4%
経常利益	43	5.9%	23	4.5%	▲19	-45.3%
四半期純利益	31	4.3%	15	2.9%	▲16	-51.4%

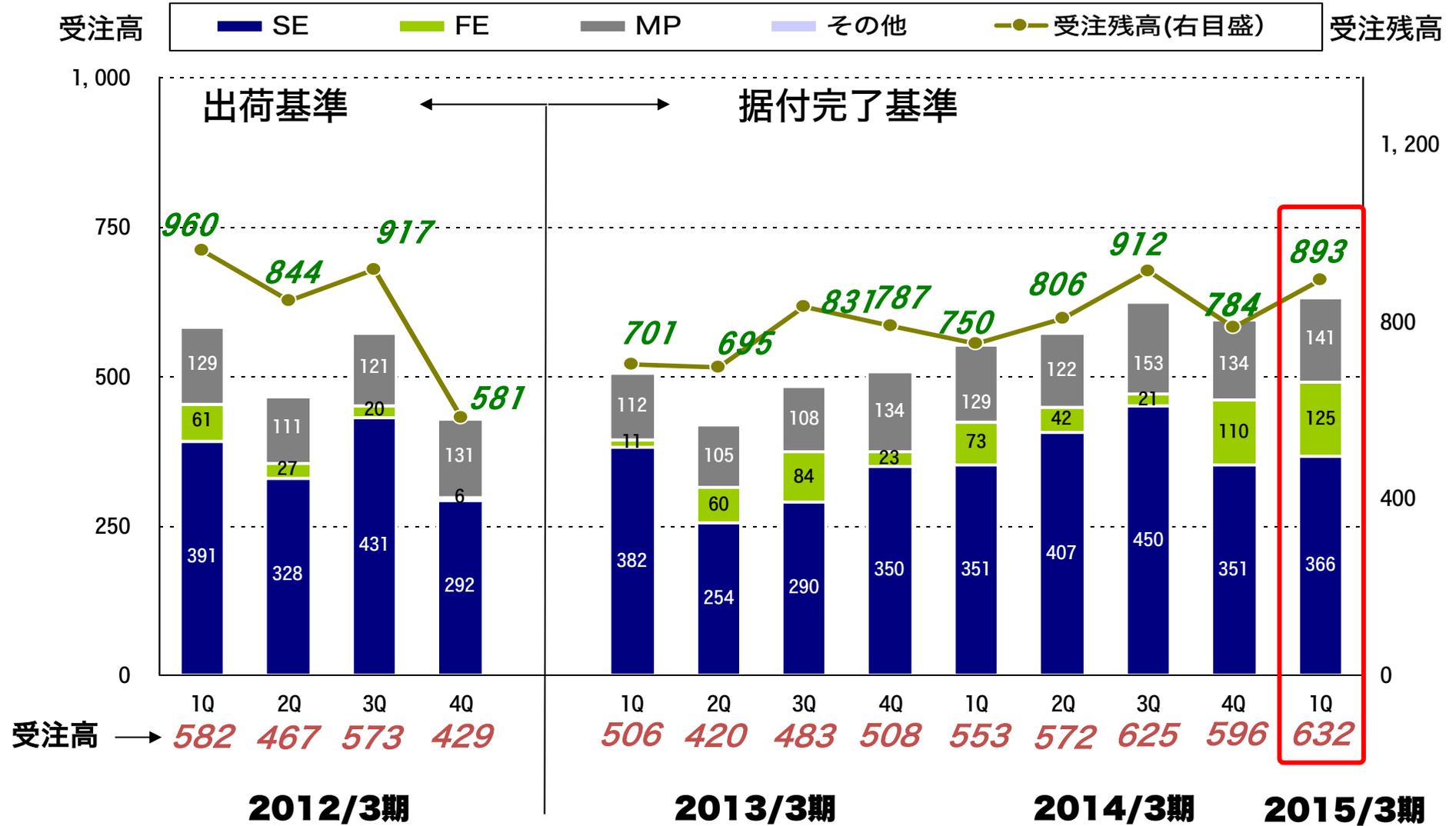
売上高・営業利益の四半期推移<連結>



*2013年3月期のSE、FEは、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

受注高・受注残高の四半期推移<連結>

(単位：億円)



*2013年3月期は、SE、FEの受注残高は据付完了基準を遡及適用して記載しています。

>>前年同期比較

(単位：億円)	2014年3月期 1Q		2015年3月期 1Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 1Q)	
	売上高	433	100%	351	100%	▲82
営業利益	21	4.9%	29	8.3%	7	37.7%

>>前四半期比較

(単位：億円)	2014年3月期 4Q		2015年3月期 1Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 4Q)	
	売上高	506	100%	351	100%	▲155
営業利益	39	7.8%	29	8.3%	▲10	-26.9%

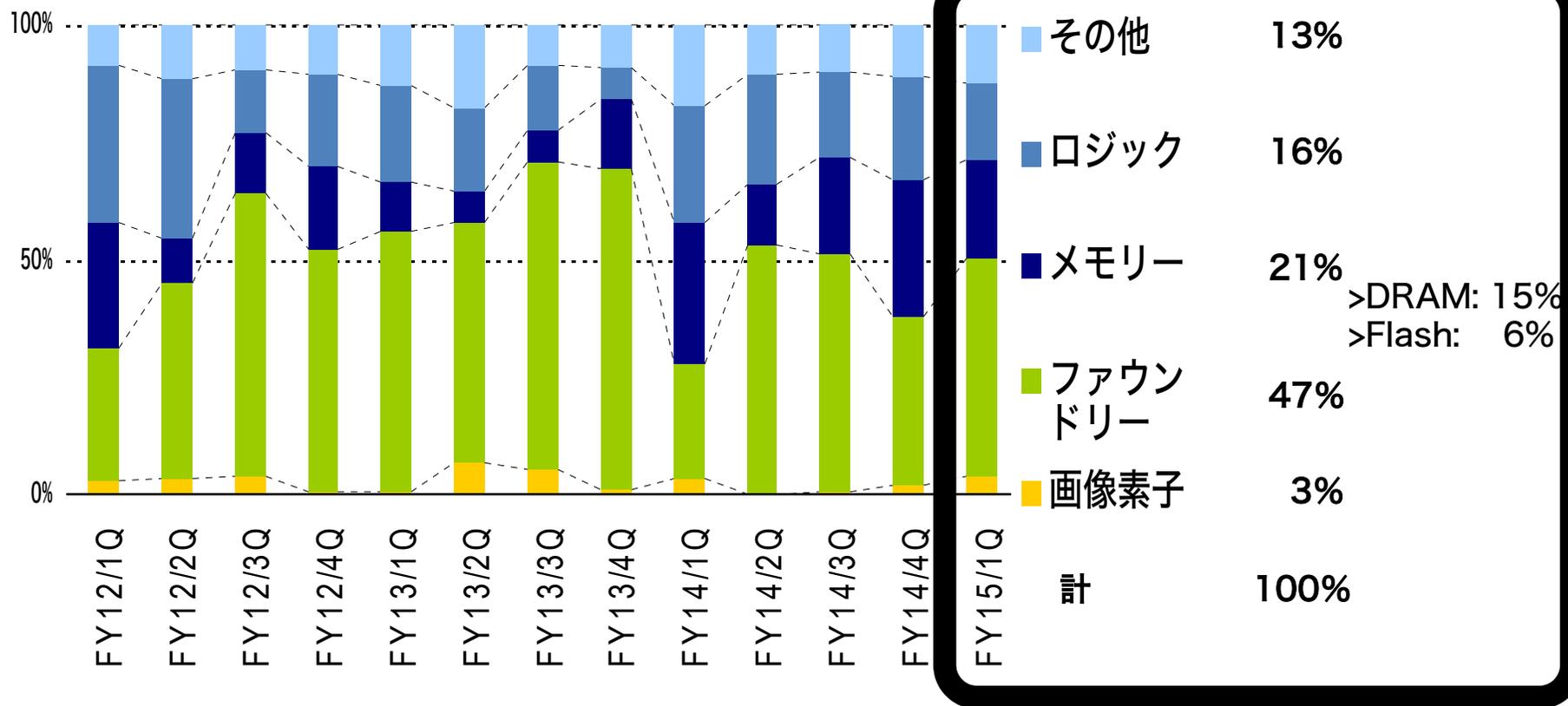
>>トピックス

- ・前年同期比：変動費率改善、たな卸資産評価損減少等により減収増益
- ・前四半期比：変動費率改善、固定費減少等により、減収でもOPM改善
- ・受注：1Qはファウンドリーは堅調に推移し、5月想定を上回った
2Qは5月予想のとおり
- ・事業環境：5月の見方から大きな変化なし
下期はファウンドリーとメモリーがけん引

受注比率・四半期推移<SEセグメント・デバイス別単体>

>>単独・デバイス別受注比率

*ご参考：連結・受注高（366億円）



>>単独・1Q地域別受注比率

*FY12/2Qよりパーツをその他に含めている



>>前年同期比較

(単位：億円)	2014年3月期 1 Q		2015年3月期 1 Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 1Q)	
	売上高	41	100%	49	100%	8
営業利益	1	2.7%	▲4	-8.3%	▲5	- %

>>前四半期比較

(単位：億円)	2014年3月期 4Q		2015年3月期 1 Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 4Q)	
	売上高	55	100%	49	100%	▲5
営業利益	▲1	-3.2%	▲4	-8.3%	▲2	- %

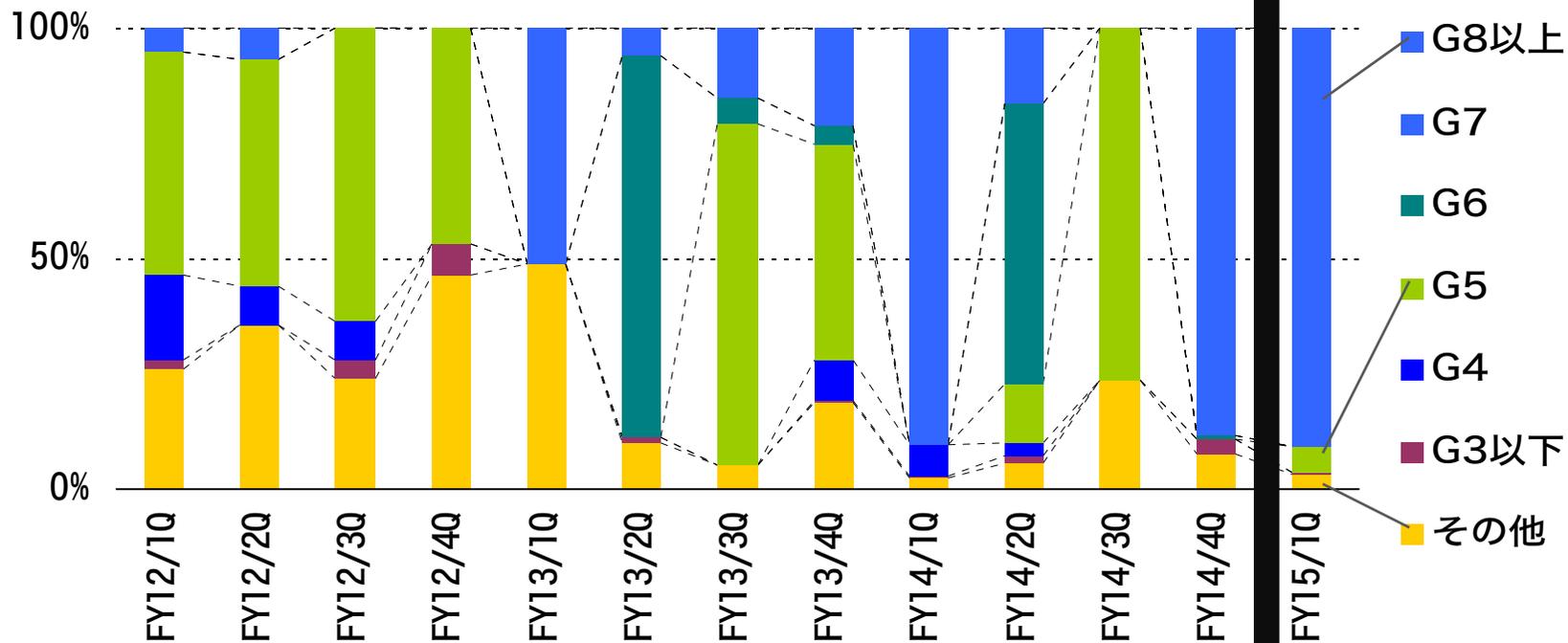
>>トピックス

- ・前年同期比：中国向け大型パネル用製造装置が増加するも、収益性は低下
プロダクトミックスの影響と固定費増加による
- ・受注：前四半期（4Q）に引き続き、高水準を維持、中国向け大型TV
パネル用製造装置がけん引 → 売上予定は、今期4Q以降
- ・事業環境：中国での投資が中心
4Kテレビの普及で画面の大型化に期待

受注比率・四半期推移<FEセグメント・世代別単体>

>>単独・製品サイズ別受注比率

*ご参考：連結・受注高（125億円）



*FY12/4Qはグロスにて算出

>>単独・1Q地域別受注比率



>>前年同期比較

(単位：億円)	2014年3月期 1Q		2015年3月期 1Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 1Q)	
	売上高	116	100%	121	100%	5
営業利益	4	3.7%	4	3.7%	0	4.4%

>>前四半期比較

(単位：億円)	2014年3月期 4Q		2015年3月期 1Q		増減 (15/3 1Q - 14/3 4Q)	
	売上高	162	100%	121	100%	▲40
営業利益	12	7.7%	4	3.7%	▲8	-64.5%

>>トピックス

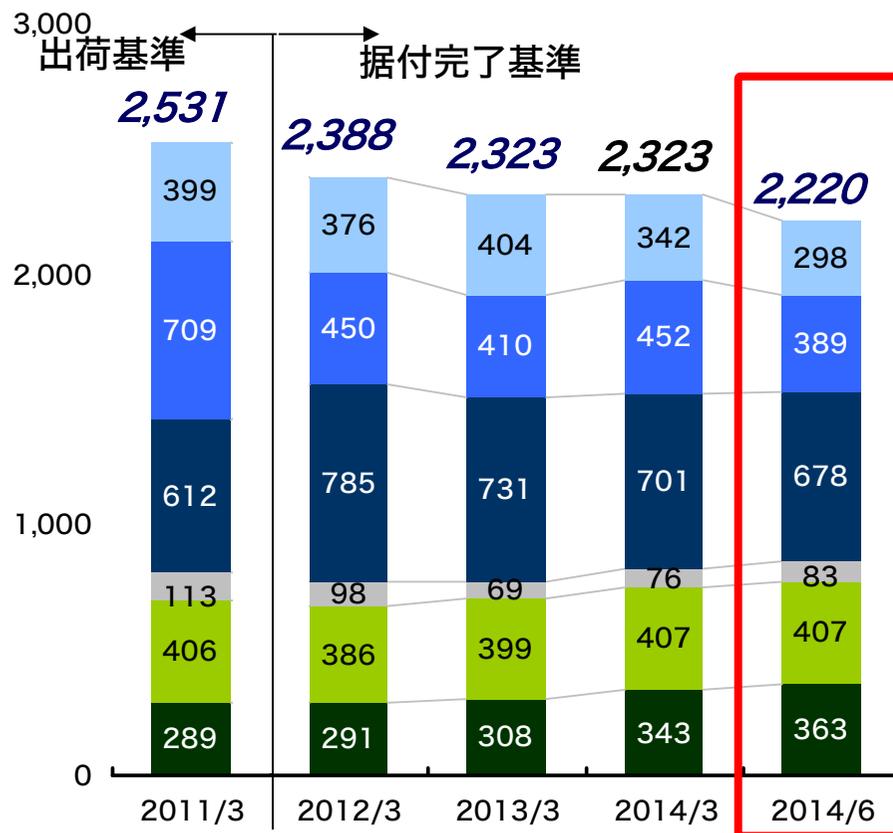
- ・前年同期比： MT：海外売上が増加。円安影響もあり
PE：直接描画装置が台湾で増加
- ・前四半期比：売上が4Q偏重傾向のため減収減益
- ・事業環境： MTビジネス、CTPの国内入れ替え需要
欧州は厳しい状況が継続するも、商談は増えつつある

貸借対照表<連結>

資 産

(単位：億円)

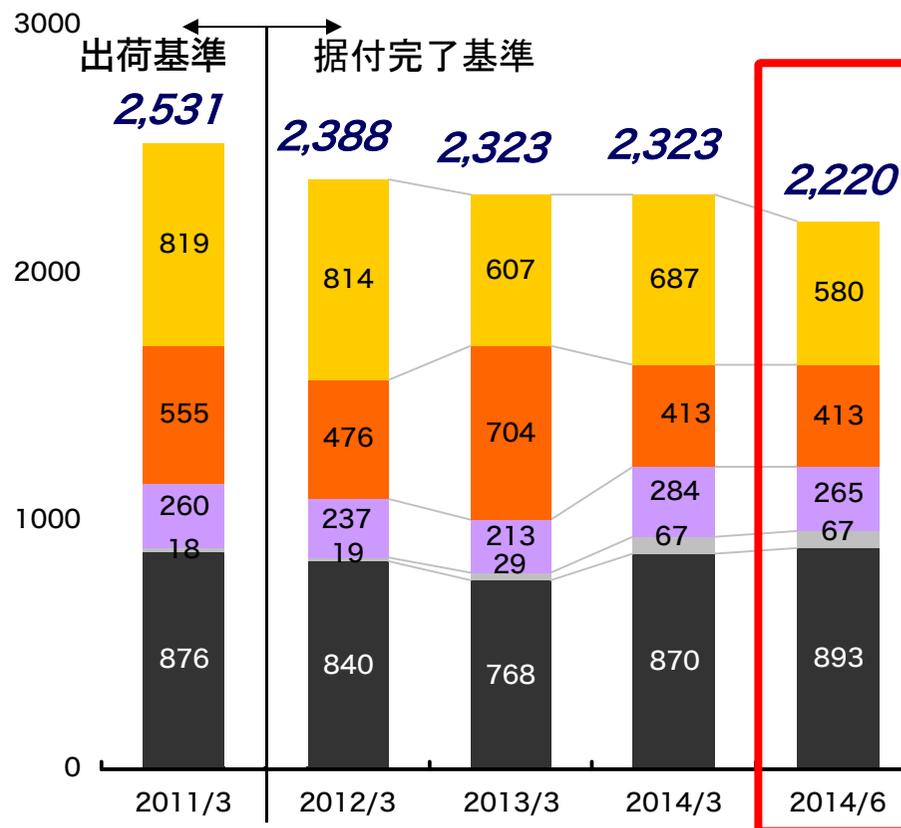
- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- たな卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産・投資ほか



負債および純資産

(単位：億円)

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



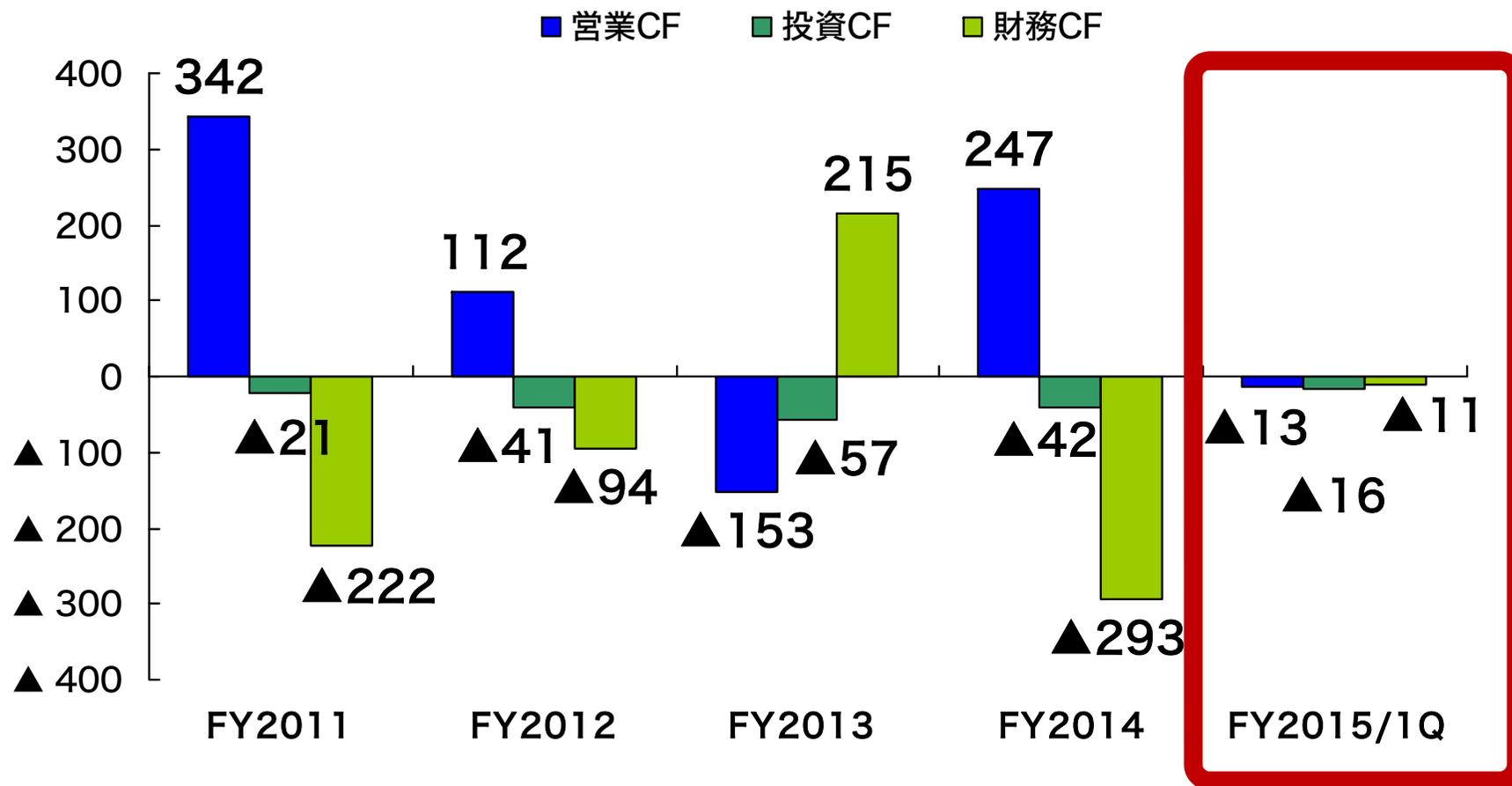
自己資本比率 37.2% (2014/3) → 40.0% (2014/6)

*2012/3、2013/3は、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

キャッシュフロー<連結>

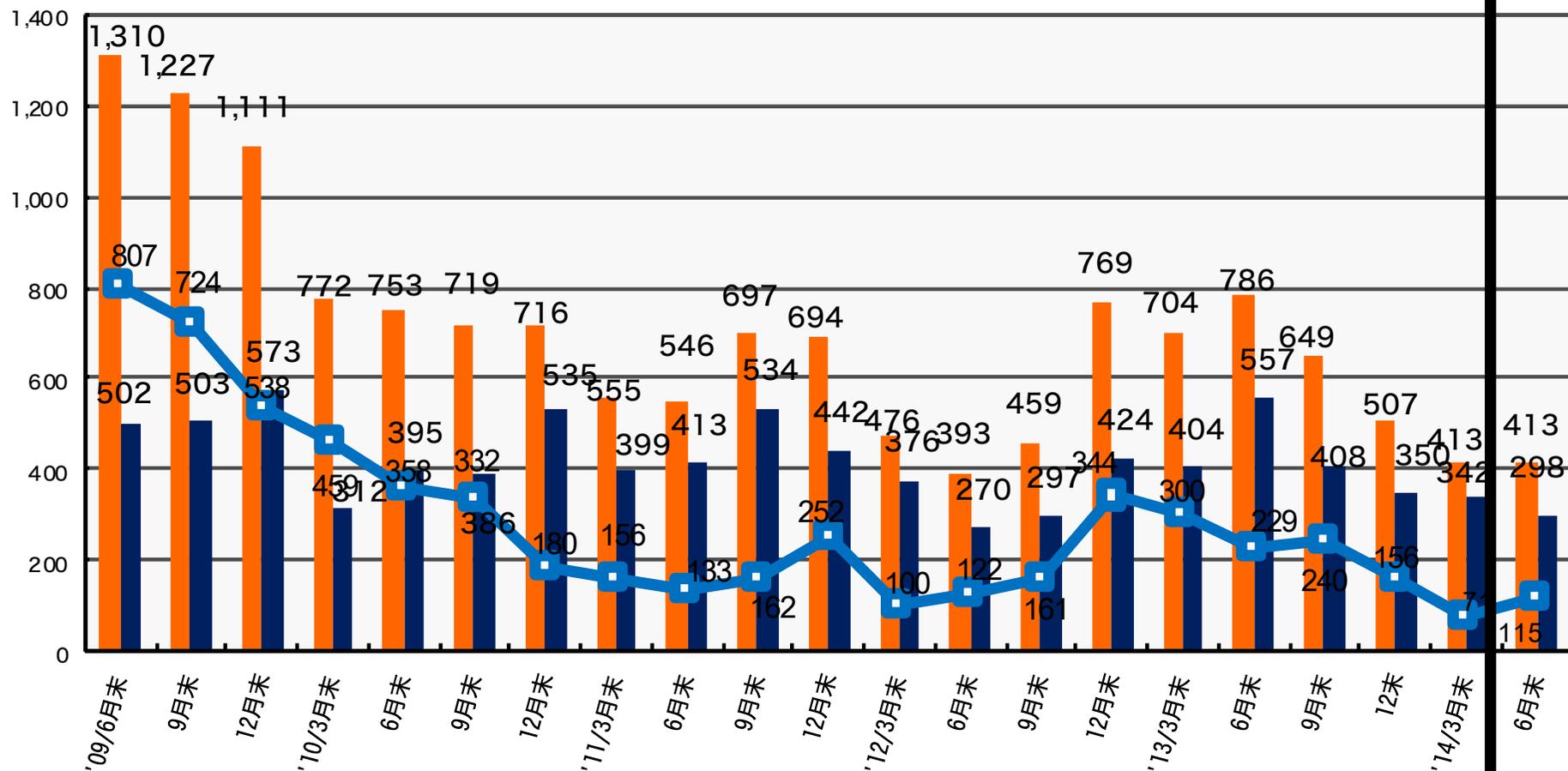
>> 1Q・フリーキャッシュフロー： ▲30億円

(単位：億円)



有利子負債推移<連結>

(単位：億円) ■ 有利子負債 ■ 現金及び預金 —□— ネット有利子負債



>>2015年3月期6月末

- 有利子負債： 413億円
- 現金及び預金： 298億円
- ネット有利子負債： 115億円

>>2014年10月分社化準備は着実に進行中

持株会社移行準備室を設置し、課題解決と進捗管理
承継会社の新体制構築

株式会社 **SCREEN** ホールディングス

- 株式会社 **SCREEN** セミコンダクターソリューションズ
半導体機器事業 代表者：須原 忠浩
- 株式会社 **SCREEN** ファインテックソリューションズ
FPD機器事業・その他装置 代表者：廣江 敏朗
- 株式会社 **SCREEN** グラフィックアンドプレジジョンソリューションズ
印刷関連機器・PCB関連機器事業 代表者：青木 克彦
- 株式会社 **SCREEN** マニュファクチャリングサポートソリューションズ
製造支援・製造請負業務 代表者：嶋治 克己
- 株式会社 **SCREEN** ビジネスサポートソリューションズ
シェアードサービス業務 代表者：河原林 正

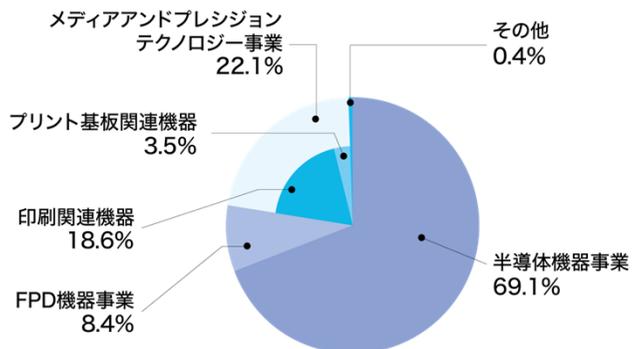
(単位：億円)

	上期		下期		通期	
	5月発表	8月発表	5月発表	8月発表	5月発表	8月発表
売上高	1,080	1,130	1,280	1,280	2,360	2,410
S E	730	770	815	815	1,545	1,585
F E	85	90	180	180	265	270
M P	260	265	275	275	535	540
O T	5	5	10	10	15	15
営業利益	35	47	65	65	100	112
経常利益	30	45	60	60	90	105
当期純利益	22	30	53	53	75	83

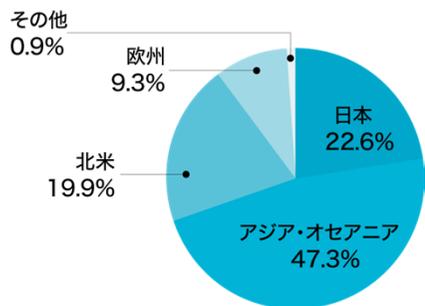
- 想定為替レート>> 1米ドル=100円、1ユーロ=135円
- 年間配当金予想>> 期末配当1株当たり5円(5月予想から変更なし)

- >>事業環境は、概ね期初想定どおり
- >>足下の受注状況を鑑み、上期の業績予想を上方修正
→ファウンドリー各社は、活発な設備投資計画・実行中
- >>変動費削減を中心に、収益構造改革は進行中
- >>10月1日付、持株会社体制移行に向けた作業は、
着実に進捗
→事業執行のスピードアップ、各事業の独立採算
の強化、収益力向上を目指す

事業別の連結売上高比率



地域別の連結売上高比率



売上実績

単位：億円
(単位未満切り捨て)

	2013年3月期	2014年3月期			前期比
		通期 (据付完了)	上半期 4-9月	下半期 10-3月	
売上高	1,997	1,111	1,247	2,359	361
SE	1,406	756	873	1,631	224
FE	120	109	88	198	78
MP	463	240	279	521	58
MT	401	204	233	439	37
PE	61	34	46	82	20
その他	7	3	4	8	0
営業利益	▲ 48	30	58	89	137
SE	▲ 37	28	57	87	125
FE	▲ 8	0	▲ 3	▲ 4	4
MP	14	9	16	27	12
その他・調整額	▲ 17	▲ 8	▲ 12	▲ 22	▲ 4
経常利益	▲ 50	25	57	83	134
当期純利益	▲ 113	15	37	54	167

SE = 半導体機器事業
 FE = FPD機器事業、
 MP = メディアアンドプレジジョンテクノロジー事業
 MT = 印刷関連機器事業
 PE = プリント基板関連機器事業

SCREEN

Fit your needs, Fit your future

